

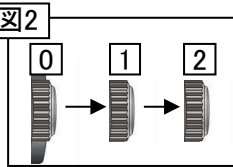
### 基本操作方法

図1



### ■時刻及び日付の合わせ方

図2



- ① 日付(デイトカレンダー)を合わせる時は、リューズを一段引き出し、1のポジションにします。手前方向へ回すと日付が変わります。  
\*この時、日付の変わるPM9:00~AM3:00の間で日付変更を行わないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。
- ② 時刻を合わせる時は、リューズを二段引き出し、2のポジションにします。そのままリューズを回して、希望の時刻へ合わせてください。
- ③ 操作が終わったら、再び0のポジションへ押し戻してください。  
\*午前午後をお間違えにならないようご注意ください。

### ■クロノグラフの使い方

このクロノグラフは、1/1秒単位で最大11時間59分59秒まで時間を計測して表示する事ができます。クロノグラフ秒針は、動き始めてから11時間59分59秒にわたり、連続して動き続けます。

(クロノグラフで時間を計測する)

- ① クロノグラフはAボタンを押すごとにスタート/ストップを繰り返すことができます。
- ② Bボタンを押すと、クロノグラフがリセットされ、センタークロノ秒針、クロノグラフ分針(12時側)、クロノグラフ時針(9時側)がそれぞれ0位置に戻ります。

### クロノグラフリセット(針位置修正)※電池交換後など

クロノグラフをリセットした後や、電池交換をした後など、クロノ秒針が0位置に戻らないときに、この手順を実行してください。

- ① リューズを二段引きして「図2」の2の位置にします。
- ② Aボタンを押して、クロノグラフ秒針を0位置に合わせます。(Aボタンを押し続けることで早めます。)
- ③ クロノグラフ秒針が0位置に戻ったら、リューズを通常位置に戻します。  
※クロノグラフ秒針が0位置に戻る前にリューズを押し込まないでください。  
リューズが通常位置に戻された時に針が途中で止まり、その位置が0位置と認識されてしまいます。

### ■ご注意いただきたい事

- ! この時計は10気圧防水構造となっておりますが、水回りでのボタン操作、リューズ操作は絶対におやめください。時計内に水分が入り、くもりや水入りの原因となります。※最悪の場合、故障の原因となります。
- ! 時刻修正を行った後は、リューズが完全に押し込まれたかどうかをご確認ください。
- ! 電池寿命は交換から約2年となります。ご使用状況により異なりますので予めご了承ください。
- ※ご購入時は「モニター電池」となります。上記寿命より短い場合もありますので予めご了承ください。